

～「いやいや期」は子どもの自立の第一歩🌟～

個人差はありますが、1歳半頃から「こうしたい!」「自分でやりたい!」という気持ち(自我)が芽生え、心の自立が始まります。でも、まだ言葉で気持ちを伝えることができなかつたり、自分で上手くできなかつたりして「イヤだっ!!」と意思を表したり、癇癢を起こしたりします。子どもの自発性が育っている証拠とも言え、大切な成長の過程です。



～どう対応したら良いの??～

子どもの「イヤ」の気持ちを
受け止め、言語化する

「〇〇するのがイヤだったね。」と気持ちに寄り添い、気持ちを代弁してあげましょう。

子どもを見守る

まだ1人では難しいことも「自分で!」とやりたがることがあります。「自分で!!」の気持ちを大切に「できた」と思えるようなサポートをしてあげましょう。

子どもに選んでもらう

「〇〇と△△どっちがいい?」など、別の選択肢を提案してみましょう。自分で選んだ満足感もあり、気持ちも切り替えやすくなります。

見通しをもてる言葉をかける

「あと〇回でおしまい。」、まだ時計が読めなくても「長い針がここまでいったら終わりだよ。」等、具体的にわかりやすい言葉で事前に伝えましょう。

肯定的な言葉をかける

「〇〇してから△△しようね。」と肯定的に伝えてあげましょう。肯定的に伝えることで、次の行動のイメージができるようになります。

たくさん褒める

一生懸命に取り組んでいることを「頑張っているね。」自分でできたことを「〇〇できて上手だね。」「△△できてスゴイね。」と具体的に褒めましょう。自信や意欲に繋がります。



自分でできることが増え、言葉で気持ちを伝えられるようになってくると、いやいやも少しずつ減ってきます。「あんなに小さい赤ちゃんだったのに、こんなに自己主張ができるくらい大きくなったなあ。」と子どもの成長を実感し、子どもの気持ちに寄り添った関わりができるといいですね。



～大人だってイヤだっ！～

毎日、何を聞いても「いや」「ダメ」と言われて、思うように事が進まず疲労困憊…。

「いつになったら終わるんだろう?」「コレってうちの子だけ??」と思うことがありますよね。余裕のない時はつい「ダメよ!」「早くして!!」と子どもに対して強く言ってしまって自己嫌悪になってしまうこともあると思います。

～お気軽に相談を!保育士とお話しませんか?～

「もう限界!!」となる前に、少し肩の力を抜いて、誰かに話を聞いてもらいましょう。

「話を聞いてほしい。」「どう対応したら良いのかな?」という時は、電話で相談することもできます。また、豊平区保育・子育て支援センター子育てサロン『りんごのへや』や豊平区役所3階こそだてインフォメーション『りんごの森』では子どもを遊ばせながら、保育士と話をすることもできます。是非、遊びに来てください。

豊平区保育・子育て支援センター(ちあふる・とよひら)

(豊平区月寒東1条4丁目2-11)

☎011-851-2510



豊平区健康・子ども課 子育て支援担当係

(豊平区平岸6条10丁目1-1)

☎011-822-2474

☎011-812-0874(相談専用)

～イヤイヤ期も楽しみましょう♪～

子どもがイヤイヤしている時は他人の目も気になり…気持ちも焦り…早くこの場を去りたい!という気持ちでいっぱい!!でも、こんなにも全力で周囲の目を気にせずに全身で「イヤッ!!」を表現できるのは、第一次反抗期(イヤイヤ期)と言われる今だけ♡♡

後で振り返ると、「こんな時期もあったなあ。」と良い思い出や面白エピソードに変わるはず…?!

かわいい笑顔だけではなく、イヤイヤの顔も、泣き顔も思い出に残してみるといいかもしれません。レンズ越しにイヤイヤしている我が子の姿を見ると少しだけ客観的に見ることができるといいかも。エピソードの記録も忘れずに。

※撮影の際には子どもの安全に注意して、周囲の人の妨げにならないように注意しましょう♡♡

もうぜんぶ
やだっ!!



@イベント会場

イヤイヤ期 写真展



あっちに行きたかったのー!!

@某公共施設

とある保育士たちの子どもたちもあらゆる場所で自己主張していました!! 親切な通りすがりの方に優しい言葉を掛けられ、助けられながら子育てをしています!!

※イヤイヤの表現の仕方はみんな違います。全ての子どもがひっくり返る訳ではありません。



@地下鉄ホーム

まだ地下鉄から
降りたくなかったー!!

買ったパンを
“今”食べたかったー!!



@ショッピングセンター

豊平区保育・子育て支援センター 子育て支援係
豊平区健康・子ども課 子育て支援担当係



スリッパを履いたら
上手く歩けないよ~!

@温泉ホテル

